

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者		連絡先 3374
部 名	土木部	課 名	河川整備課	課長名	神保政雄
事務事業名	河川維持管理事業				
予算上の事務事業名	河川維持管理費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32510	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第5節 河川の整備				事業開始年度
施 策 名	第1施策 治水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	河川法（第1条、第2条、第16条の3、第100条）				
3 個別計画の概要			概要		
計画名	河川用地の管理		除草・水路及び河川の浚渫等の委託業務		
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
河川の選考取得や河川管理通路、多自然型護岸を除草することにより、不法投棄や火災を防止し、また、河川堆積物を浚渫することにより良好な生活環境と通水機能をを向上させることを目的とする。			管理河川沿線住民		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
除草委託	面積	61,110㎡			
河川堆積物浚渫委託	浚渫量	1,662㎥			
不法投棄収集処分委託	処分量	9t			
水路等清掃浚渫委託	浚渫量	35㎥			
水路等産業廃棄物処理処分	処分量	42t			
河床整正委託	面積	20,928㎡			
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	17,020	16,858	38,281	38,785	38,785
一般財源	17,020	16,858	38,281	38,785	38,785
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	125	126	126	126	126
事業コスト合計	17,145	16,984	38,407	38,911	38,911
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	除草委託			対象名称と単位	件
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	17,145	15,256	14,038	14,038	14,038
対象数	4	5	6	6	6
単位あたり経費(円)	4,286,250	3,051,200	2,339,667	2,339,667	2,339,667
前年度比		0.71	0.77	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	火災防止率	指標式と指標の説明	(火災非発生面積/除草面積)*100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	不法投棄防止率	指標式と指標の説明	(不法投棄非発生面積/除草面積)*100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		河川の状況を把握しながら適正な維持管理に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 除草回数や範囲など、効率的な実施を図る。			14 課題として認識されたこと 市民要望と実施計画との調整		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			